

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 〒164-8701  
 住 所 東京都中野区中野4丁目3番2号  
 氏 名 株式会社丸井  
 代表取締役社長 佐々木 一 印

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	株式会社丸井		
主たる事務所 又は事業所の所在地	210-0024 神奈川県川崎市川崎区日進町1-11		
該当する事業者 の要	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	I	卸売業, 小売業
	中分類	56	各種商品小売業
主たる事業 の内容	小売業		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量		4,936 k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO <sub>2</sub>
連絡先	担当部署	担当部署名	株式会社 丸井グループ CSR推進部
		所在地	東京都中野区中野4丁目3番2号
		電話番号	03-5343-0717
		FAX番号	03-5343-6622
		メールアドレス	
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計画期間及び報告年度	平成25年度～平成27年度（報告年度 平成27年度分）
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備 考	・丸井グループの地球温暖化対策の取組みについては、ホームページにてCSRレポートを公表しています。 <a href="http://www.0101maruigroup.co.jp/csr/csr_top.html">http://www.0101maruigroup.co.jp/csr/csr_top.html</a>

備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。

2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。

3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。

4 ※印の欄は記入しないでください。

5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

## 事業活動地球温暖化対策結果報告

### 1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況（第1号、第2号、第4号該当者等）

#### (1) 温室効果ガスの排出の量の状況（排出係数固定）

##### ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
排出量	(実) 8,810 t-CO <sub>2</sub> (調) 8,806	(実) 8,824 t-CO <sub>2</sub> (調) 8,820	(実) 8,268 t-CO <sub>2</sub> (調) 8,264	(実) 8,127 t-CO <sub>2</sub> (調) 8,123	(実) 8,546 t-CO <sub>2</sub> (調) 8,542
削減率		(実) -0.2 % (調) -0.2 %	(実) 6.2 % (調) 6.2 %	(実) 7.8 % (調) 7.8 %	(実) 3.0 % (調) 3.0 %

##### イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原単位の活動量	延床面積×営業時間		単位	t-CO <sub>2</sub> /万㎡×h	
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度の値
排出原単位等の値	0.3576	0.3583	0.3358	0.3299	0.3469
削減率		-0.2 %	6.1 %	7.8 %	3.0 %

##### ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第1年度	・エネルギー管理の推進で電気使用量は1.7%削減したものの、レストラン増設によるガス使用量の増加により、排出量は全体で0.2%の増加となりました。全体では営業時間の短縮影響の方が大きく、原単位の改善がはかれませんでした。
第2年度	・溝口・川崎ともに、LED切り替えによる電気使用量の減少、冷夏に起因する空調機の温度設定対応でガス使用量・冷温水使用量の抑制が奏功し、排出量は基準年度比6.2%削減し、かつ原単位の改善につながりました。
第3年度	・第2・第3年度において、溝口・川崎ともにLED切替えや空調機の温度設定管理徹底による電力・ガス使用量の抑制で、最終年度の排出量・原単位目標を大幅にクリアできました。

#### (2) 温室効果ガスの排出の量の状況（全社目標）

<p>◎エネルギー排出量原単位を年平均で1%以上削減することを前提として目標として設定。全社で継続的な削減を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・削減に関しては、売場や後方照明の間引き、店外のネオンサインや照明の消灯を実施。</li> <li>・各事業所において、空調設備の運転時間、照明の点灯・消灯の運用管理を徹底、設備担当との連携により効率化をはかる。</li> <li>・省エネ設備投資計画を策定中、基礎照明のLED化と老朽化空調機の入替えを順次実施中、LED効果は全店で約2%の電力使用量を削減、空調効率UPの効果も。</li> <li>・併せて省エネ型新POSとATMの総入れ替えを終了、電気使用量を1%削減。</li> </ul>
--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等 (第1号、第2号、第4号該当者等)	計 画	<p>◎空調・照明設備、機器のハード・ソフト両面の効率化を推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽化空調設備の順次入替を計画</li> <li>・高効率照明器具へ順次変更、点灯・消灯時間の効率化を継続対応</li> </ul>
	第1年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎照明のLED化対応を2014年度中に実施予定、現在予算編成・工事計画の策定中</li> <li>・売場照明の間引き、冷温水発生機のガス利用の効率化、機器の間欠運転等を継続的に実施中</li> <li>・震災以降は事務所や倉庫の照明・空調ストップなど節電対応を継続中</li> </ul>
	第2年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎照明のLED化対応が2014年度に終了、現在は店装照明のLED化の予算編成・工事計画を策定中</li> <li>・売場照明の間引き、冷温水発生機の効率稼働、機器の間欠運転等を継続的に実施中</li> <li>・震災以降は事務所や倉庫の照明・空調ストップなど節電対応を継続中</li> <li>・老朽化した空調機の切り替え計画を策定中</li> </ul>
	第3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎照明のLED化対応が2014年度に終了、店装照明のLED化工事計画を策定中(次期3年間で完了予定)</li> <li>・老朽化した空調機・冷凍冷蔵庫の切り替え計画を策定中(完了時期は2017年度に決定の予定)</li> <li>・売場照明の間引き、冷温水発生機の効率稼働、機器の間欠運転、事務所や倉庫の照明・空調ストップなど節電対応を3年間継続実施。</li> </ul>
自動車等 (第3号該当者等)	計 画	
	第1年度	
	第2年度	
	第3年度	



## 4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

計 画	◎ビスアルノ・カーボンフットプリントシャツ&カーボンオフセット ・自主ブランド「ビスアルノ」のビジネスシャツをカーボンフットプリントに。同時にこのシャツをご購入いただいた際に、このシャツの生産過程等で発生するCO2排出量5916gの10%分をカーボンオフセットするキャンペーンを2010年春から実施しています。 (1着で約590gのCO2をオフセット)
第1年度	◎ビスアルノ・カーボンフットプリントシャツ&カーボンオフセット ・対象商品2万着販売 ⇒ CO2オフセット 約10トン
第2年度	◎「ラクチンきれいパンプス」のカーボンフットプリント商品を販売、 →14年8月の温室効果ガス排出量は4676グラム、オフセットを実施
第3年度	■らくちんパンプスのカーボンフットプリント&オフセット ・丸井の自主ブランド「らくちんパンプス」のカーボンフットプリント実施。 同時にこのくつをご購入いただいた際に、このくつの生産過程等で発生するCO2排出量4676gのうち、生産地の環境保全活動団体にオフセットするキャンペーンを2015年から実施しています。

## 5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計 画	・レジ袋削減キャンペーンの実施・可燃ゴミと紙類(ミックス <sup>パ</sup> - <sup>パ</sup> -)の分別強化と自治体との連携 ・「FunToShare」の参加による、クールビズ、ライトダウンキャンペーンの実施 ・愛の救援衣料(衣料品回収)の開催
第1年度	・レジ袋削減キャンペーンの実施(ファミリー溝口)・愛の救援衣料(衣料品回収)の開催 [川崎 5月/溝口 10月] ・クールビズ、ライトダウンキャンペーンの実施
第2年度	①新電力会社の部分供給契約により、コストとCO2をともに抑制することを検討中 ②ダンボール回収を「廃棄物収集業者」から「古紙回収業者」へ切替え、複数店舗の回収を一括委託することで、従来より高値で売却→店別に効果が明確化、分別の意識が向上し、リサイクル率がアップ、ゴミ自体が削減。
第3年度	年間2回お客さまの使われなくなった衣料品を「認定NPO法人日本救援衣料センター」を通じて海外の途上国へ寄贈。 この活動は「マルイの下取り」開始以前の1991年から20年以上継続して行っており、昨年度は約210トン(約70万着)の衣料品を寄贈。

## 6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績（排出係数反映）

## (1) 事業者単位

ア 第1号、第2号、第4号該当者等

(実)	7,556	t-CO <sub>2</sub>
(調)	7,351	

イ 第3号該当者等

(実)		t-CO <sub>2</sub>
(調)		

## (2) 事業所等单位（第1号、第2号該当者等）

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が1,500kl以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
丸井ファミリー溝口	高津区溝口1-4-1ノクティ2	5611	小売業	5,480 t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500kl以上1,500kl未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
丸井川崎店	川崎区日進1-11	5611	小売業	2,076 t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500kl未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400～500kl 未満	
300～400kl 未満	
200～300kl 未満	
100～200kl 未満	
100kl 未満	

## (3) 事業所等单位（第4号該当者等）

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t以上（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t未満（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の数

事業所数	
------	--